

令和4年度 一般講演会 会場アンケート（全会場集計）

2023.2.25（土）開催

参加：メイン会場 15名、サテライト会場(名護 9名、うるま市 6名、石垣市 5名、宮古島市 14名)：計 49名
アンケート回収の状況

メイン会場 15名、サテライト会場(名護 7名、うるま市 6名、石垣市 5名、宮古島市 7名)：計 40名

質問1. 立場を教えてください。

当事者	家族	職場	支援者	その他
2名	8名	0名	23名	7名

支援者内訳（理学療法士 1名、精神保健福祉士 3名、ケアマネージャー 3名、作業療法士 3名、包括支援センター 4名、社会福祉士 2名、障がい者就労支援職員 1名、行政 2名、看護師 3名、管理者 1名）
その他内訳（家族の会 1名、記載なし 6名）

質問2. 多田さんのお話を聞いて、ご自身の中で得られたことはありましたか？

- ・社会の中で周知させることの重要性を痛感
- ・多田さんのお話をきいて、1人1人幸せになる権利もあるし、奥が深い物が沢山あると思いました。多田さんからパワーをもらいました。ありがとう。
- ・はるそらさんの活動、すごいです！！聞いててワクワクしました。私にも出来る事があるかも！！と前向きになりました。多田さんありがとうございました。
- ・多田さんの講演を聞いて家族の気持ちがわかります。思春期の娘の事、妻の事にとっても感謝の気持ちでいっぱいになりました。
- ・1人ひとり人生にはストーリーがあり、家族もまた1人ひとりのストーリーがある。その時々で関わり、つなぎ、少しでも当事者や家族のサポートが出来ればと思います。
- ・当事者として大変な時を過ごし、又他者の事を考えて下さったおかげで知る事が出来、今後の自信のあり方に参考にしたいと思います。本人の安心、家族への配慮。
- ・共感する事が多く、私だけじゃないんだと思えることができました。本人とどう向き合ったら気持ちが落ち着くのか、不安を取り除いてあげられるのか、寄り添ってあげられるのか前向きに考えられそうです。
- ・信頼できる仲間 安心できる場所が必要であること 沖縄県でも実態調査アンケート実施すべき
- ・当事者の方の生の声をお聞きし様々な問題、困り事があるのだと
- ・当事者家族としての経験談がすごく伝わった。家族としての罪悪感や色々な葛藤があったと感じた。
- ・当事者本人にとって安心して利用できる場所、信頼出来る仲間をつくってあげるように家族は頑張っていかなければならないと思いました。ありがとうございました。
- ・家族として関わるようになり、法人を作って支援活動に力を入れている点に感動しました。
- ・支援者の何気ないひと言で傷つけてしまうことがあること、逆に支えにもなれること
- ・家族の思いを触接聞くことができ今後の支援に繋がれると思いました。
- ・他人事ではないということ
- ・本人の声を聞くために、病状を聞くのではなく、話を否定しない。好きなこと、若い時に話など

一緒に楽しめる事を探す。

- ・一緒に楽しむ。支持などしない（指示？）という支援の仕方が出来る様になりたいと思った。
- ・本人、家族が抱えている想いは1人1人違うんだということに改めて気づきました。また、年月が経つことで想いに変化が出て来るんだと思いました。
- ・はい。
- ・当事者を支える家族の声が聞けてとても勉強になった。
- ・はるそら→心地よい場所、楽しい、普通の会話、一緒に楽しむ、みんな同じ仲間として会える、とてもすばらしい会 思いの橋渡し
- ・若年性認知症の方の介護サービスで使えるものがないということ→家族への負担や生活の不安があったこと 若年性認知症の症状の診断までに時間がかかったこと→長い間悩むことになっている 若い方の認知症について理解している方が少ない
- ・家族（子供達）の気持ち、思いがきけて参加（参考？）になった
- ・当本人の声を聞き行動にうつすことが
- ・当事者を支える家族の思いを知ることができた。
- ・これまで関わってきた方が感じた事を皆2人の前ではなしてくれたので良かったです。
- ・高齢者の認知症の支援は多いが若年性は居場所もなく経済的、仕事面、子どもの将来のことに影響が大きい、大変だなあと感じました。診断に13年もかかったことにも驚きです。
- ・私は夫が発達障害ではないかと思っていましたが、若年性の認知症も若い時に発症するのでもっと大変だったと思います。
- ・働き盛りの若年性認知症である家族と暮らす当事者の立場である多田さんの体験されたお話しで学びは大きかったです。理解が深められ、相談を受ける側として対応の仕方や支援の進め方等考えさせられました。
- ・気づきと、その後の支援。早期診断後の支援者とのつながり。
- ・多田さんのお話しの中で、子育て中でご自身も大変な中、自分の事だけではなく「同じように困っている人のために」と「はるそら」を立ち上げられたパワーに敬服しました。自身も介護家族ですが、とてもそのような余裕はありませんでした。
- ・仲間づくり、居場所づくりはほんとうに大事だな～と再認識しました。
- ・介護者とささえる事の重要性
- ・相談を受けた時に「前例がない」だけで終わってしまうのは、本人、ご家族等を傷つけてしまうのだと改めて感じました。本人、ご家族の支えがもっと必要だと思いました。
- ・マスク付きでは、理解することがなかなか出来ません。
- ・記載なし5

質問3. 若年性認知症相談窓口・若年性認知症支援コーディネーターの業務について

とても理解できた	まあ理解できた	難しかった	記載なし
26名	12名	2名	0名

4. 本日の講演会で参考になったことありますか？

- ・本人、ご家族の声を聞き出す仕組みを作りたい
- ・認知症には運動、会話が大事、活動力を高める
- ・今から事業所探しが始まるので参考になりました。まだまだ居場所づくりに前向きじゃないですが、事業所での実際楽しく過ごしている様子が少しでも理解できたので本人への声かけ、話合いの時に前向きに説明出来そうです。
- ・若年性認知症支援コーディネーターとの連携
- ・コーディネーターが県内で2人になるよう調整中とのことで今後よりよい体制が構築されて行くといいなと思います。
- ・若年性認知症の理解をもっと周知していかないといけないと！！
- ・時代が変われば人がかわり、ニーズがかわり、サービスがかわる。介護度がかわれば関わり方、ニーズ、利用できるサービスもかわっていかねばならないと学びました。
- ・新年度から認知症に関わるものが少なくなります、自分自身の知識として勉強になりました。ワンスタイルさんは、若年性の方でも利用しやすいサービスと思いました。
- ・若年性認知症の相談について、今後の新しい通いの場について
- ・一緒に楽しむ。伴走支援。「認知症」のことを「認知だから～」と言うときあるので今後気をつけたいと思った。
- ・認知症を理解する9大法則
- ・認知症を疑ったときからの相談窓口が分かったこと。若年性認知症の人を支える為には多くの連携機関がある事を知りました。
- ・若年性は経済的・就労・こどもの支援 にかえる環境 家庭崩壊が複雑
- ・WANSTYILの活動内容が参考になりました（自分らしく）
- ・認知症である事をカミングアウトをしやすい地域づくりに貢献していきたいと思う。相談（窓口や電話）の際に、若年性コーディネーターの存在、役割について説明できたらいいと思う。
- ・相談できる環境づくり
- ・高齢者と違う→経済的、就労、子どもの支援、ヤングケアラー等の課題がある。
- ・人間らしく生きるには障がいがあるとその何倍も大変だと思います。でも知識がその人を助け、知識を身につけたいし いろいろ参考にしたいと思います。
- ・早期診断、治療、支援
- ・自身も介護家族として前任の中野さんにいろいろ相談していた経緯があったので概ね理解できました。県にこのような相談窓口があることはとても頼もしいです。
- ・活動出来る事業所づくりに努める必要有：就労支援の大切さ
- ・高齢者にはない三つの支援の紹介がわかりやすかったです。今後の支援に活かしていきたいと思います。
- ・すべての内容大変参考になりました。今後の支援委役立てたいと思います。
- ・若年性認知症の方の支援についての講演会は初めてでした。高齢認知症とは違う課題の多さにおどろきました。
- ・記載なし16名

5. 今回の講演会の満足度

とても理解できた	まあ理解できた	難しかった	記載なし
27名	10名	2名	1名

- ・記載なし1名

6. 次回の講演会の要望について

- ・当事者の声は強いですね。もっと聴きたい。
- ・ヤングケアラー当事者の方の講話
- ・もっと色々な他府県の情報が聞きたい!!
- ・ピアサポート活動について、いろいろな支援者から実践についてお話を聞きたいです。
- ・認知症についての講演会の開催希望します。
- ・当事者の声を聞ける時間をより多く設けて欲しい。
- ・当事者のお話しが聞きたいなー。
- ・自販機器→見まもりラインでつなげる うるま市してほしい
- ・次回もありましたら参加したいです。オーダーメイド支援の具体例の紹介等を聞いてみたいです。
- ・必要に応じて
- ・まだ夫は認知症との診断は出ていませんが、それが何年もかかる人もいると思うと不安でいっぱい
です。不安を取り除きたいですね。
- ・当事者の声を発信しやすい環境づくり。家族会の立ち上げや活動についてパワーをもらいたい。
- ・ヤングケアラーの問題や経済的な課題など、若年性認知症の家族が直面する問題（若年性に特化した
課題に付随する家族の苦しみや悩み）について、個人情報の問題はあると思いますが、具体例を交え
た解決方法のお話などを多く聞いて家族同士で共有したいです。
- ・居場所（就労含む）への取りくみについて。もう少し事例を知りたいです。
- ・記載なし26名

7. 今後オンラインでの講演会開催について参加の有無について

参加したい	参加したくない
31名	1名 理由記載なし
参加するなら	参加出来ない
職場（16名）個人（17名）記載なし6名	6名（理由）オンライン環境なし4名，パソコンを持 っていない1名，講演会の内容による1名 ※ネット環境はないので今回のサテライト型であれば参加可 能です。（石垣市5名、宮古島市1名の回答）

- ・記載なし6名

8. コーディネーターに望むことや、欲しい情報など

- ・いつも支えて頂き、とても心強いです。コーディネーターさんにつながる事で、不安はや問題が軽減できることを多くの人に知って欲しいです。
- ・若年性認知症
- ・いつもサポート、支援ありがとうございます。
- ・空白の時季に誰に 本人?!会社~妻、夫~?
- ・県内の若年性認知症専門員との連携
- ・人数を増して安次富さんの負担を減らして欲しいです!! (多良間)
- ・コーディネーターお一人で全県対応で多変だと思いたすががんばってください。協働の心で取り組んでいきましょう。
- ・事例検討会など
- ・年間の予定とかわかりましたら、参考にしたいと思います。
- ・県に1人というのは大変だと思うので、増員できたらいいと思います。
- ・今、思いつきませんが、問題がある時は相談させていただきたいと思います。※最後のカミングアウト出来る環境、雰囲気心が心にひびきました。意識していきたいと思います。
- ・記載なし 29名

9. コーディネーターに相談したいことはあるか?

- ・心の葛藤があって、他人には主人の全てを話すには勇気はありません。
- ・記載なし 38名

10. 感想

- ・安次富さんの業務量の多さにおどろきました。コーディネーター増員が必要だと思いました!!
- *遊農倶楽部を南部地区(豊見城市)でも出来るようにしたい。して欲しい。
- ・身体に気をつけて頑張りすぎないで下さい!